

平成 30 年秋期 六浦地区推進連絡会

1 日時

平成 30 年 10 月 15 日（月） 19 : 00～20 : 30

2 場所

瀬戸町内会館

3 参加者 44 名

（地域側）自治会等地域団体関係 20 名

（大学関係）

横浜市立大学 2 名

関東学院大学 1 名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 5 名

都市整備局 2 名

支援チーム 14 名

4 意見交換要旨

（1）開会の挨拶（興津 連合・社協会長）

（2）住み慣れた地域で いつまでも 元気に暮らし続けるために（國原 区長）
14 地区を回っている中で、「認知症」が際立ってよく話題にされているが、
そうではないのではないのかと感じ、話をする事とした。

※パワーポイント資料参照

（3）出席者の紹介

地域、大学、区、支援チームの各自自己紹介。

（4）金沢区地域福祉保健計画 六浦地区 地区別計画の上半期振り返りについて

※地区別計画策定・振り返りシート参照

- ・高齢者の見守り
- ・高齢者お花見会
- ・高齢者居場所づくり

中村 地区社協福祉委員会第 1 部会委員長
（民生委員児童委員協議会会長）

- ・学童とのふれあい給食会
- ・学童とのふれあいタイム
- ・昔遊びの会

川見 地区社協理事
(子育てサロンハイハイくらぶ代表、主任児童委員)

- ・研修会
- ・社会見学

中村 地区社協福祉活動第1部会委員長
(民生委員児童委員協議会会長)

- ・子育て支援活動
(ハイハイくらぶ)
- ・むつりんぴっく

川見 地区社協理事
(子育てサロンハイハイくらぶ代表、主任児童委員)

- ・春季ハイキング
- ・秋季ハイキング
- ・お祭り

小池 地区社協福祉委員会第2部会委員長
(スポーツ推進員地区長)

- ・社会を明るくする運動
- ・福祉講座
- ・地域ケア意見交換会

井上 地区社協総務企画委員会委員長代理発表
(地区社協理事・保護司)

- ・子どもの見守り . . .

福島 連合・社協副会長

- ・防犯パトロール . . .

大宮 レディース防犯隊隊長

- ・災害時に備えた取り組み . . .

福島 連合・社協副会長

- ・「広報誌 むつうらたより」の発行

. . . 中川 地区社協広報啓発委員会委員長

(5) 意見交換

①金沢区地域福祉保健計画 地区別計画上半期振り返りについて
(桑川 社協事務局長)

課題はいくつもあるが、広報を活用して社協を周知できないか。
社明大会や文化祭の写真を使ったらよいと思う。

②地域の課題について

○金沢八景駅周辺の工事および開発状況について

(高橋 都市整備局市街地整備部 金沢八景駅東口開発事務所長)

土地区画整備事業による、駅前広場を含む道路の築造・国道16号線の拡幅・電線の地中化・京急線駅舎を高架に設置・駅舎間をつなぐ東西自由通路の建造・駅舎や通路につながる階段や昇降機の設置等を行っている。

工事中は、通路を確保しながら進めており、今年度末に完成予定。

→ 柳田 連合・社協副会長 より質問

非常に長い工事であるが、事故もなく地元も嬉しく思っている。

感謝を伝えるとともに、今後ともよろしくお願ひしたい。

しかし完成披露後も課題があると考えられるので、市・区にはご協力をお願ひしたい。

課題としては、

- ・駅前広場の運営、活用方法
- ・シーサイド下のイベント広場の活用方法（愛称をつけたい）
- ・八景駅裏の公園（名称の決定、徳川家康像の設置検討）が挙げられる。

○ゴミ屋敷について

(富川 連合事務局長・社協副会長)

昨年3月も議題に挙げた。六浦東地区のゴミ屋敷の家主について、その後片付けされて一時は良くなったかに思えたが、ゴミを漁って食べ物を食べたり、資源ごみを持ち去るなどの行動を、最近よく見かけるようになってきた。

柳町内の集積所で生ごみを漁って、その場で食べたりもするので、不衛生である。

特に気になるのが、刃物を持ち歩いているため、下校時の子どもがからかったりして、襲ったりすることがないか心配である。

警察に連絡したが、区役所の問題ではないかといわれた。

→ 栗原 担当部長から報告。

区役所としても、働きかけを行っているが、私有地のため手を出しにくいのが正直なところである。しかし、何度も訪問し、粘り強く説得を行っている状況である。

当人は、大量のごみを自身の荷物と考えているが、においの問題や害虫の発生も報告されているので、何とか片付けようと思ってもらえるよう説得している。

別の要因（国民健康保険等）で区役所とつながる機会を逃さず、寄り添いながら対応していきたいと考えているため、もうしばらく時間をいただきたい。

また、刃物（カッター）を持ち歩く危険性や、段ボールをはじめとする資源ごみを持ち去ることが窃盗にあたることを本人にお伝えしており、本人から「やらない」と言ってもらったりしているが、なかなか治らないのが現実。

今後とも粘り強い説得を継続していく。

○学童保育施設について

（興津 連合・社協会長）

ロケット公園の奥にある、青少年の家を六浦子供ホームとして、六浦独自で学童保育を進めているが、市の通達でこどもが使用する施設は耐震性が求められるようになったことで、耐震補強が必要になった（建物は、昭和36年設立）。

専門の方に相談したが、現建物での耐震化工事には多額の資金が必要であり、工事を行っても基準を満たすかは保証できないとのことであった。

そこで、別建物の候補を探し、3件ほど候補をあたったが、耐震の条件が原因で挫折し、決まっていない状況である。引き続き、検討を進めていく。

○六浦睦町内会と大川地区の境界地について、

（興津 連合・社協会長）

六浦睦町内会とレイディアントのある大川地区の境界地に戸建てや大きな老人ホームが新たに建ったが、大川地区のレイディアントが受け入れるつもりがないようで、所属町内会がない状態で困っている。

→ 國原 区長より補足

学童保育については悩ましい問題であり、学校連携・こども担当課長が担当しているが、なかなか解決策が見いだせない状態。富岡地区でも同様の問題が出ている。

所管局へは提案として、工事の基準単価が低いのではないかと、という工事賃金の見直しについて検討するよう申し入れている。

○学校関係・ケアプラザの近況について

(山下 六浦中学校長)

本日、横須賀市文化会館で文化祭（六中祭）が行われた。

また、昨日は、柔道オリンピック選手の杉本美香選手の講演会が行われた。地域の皆様に見守られつつ楽しみつつ過ごさせていただいている。

お祭りの参加学生が減っている話があったが、部活動で良い成績を修めることが増えていて、ちょうど祭礼の日が大会になっていることもあり、教員も生徒もいないことがある。

参加するとしても、自分の地域のところにお手伝いに行くことが要になっているが、ボランティアにすると部活単位になってしまい、差が生まれてしまうため悩ましい。どんな形にするにせよ、地域の方々と一緒に考えていき、地域に貢献できる形にしていきたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひいたします。

(梅田 瀬ヶ崎小学校長)

六浦小と瀬ヶ崎小では、9月29日に運動会が行われた。

これからの秋には、行事が多数予定されており、今年はケアプラにもご協力いただひて関わりたいと思っている。

引き続きよろしくお願ひいたします。

(金井 横浜市立大学研究推進課地域貢献担当係長)

10月20日の、いきいきフェスタにて、あおぞらファクトリーを行う。

区政推進課と市大の芦澤先生が協力し、産業団地の取り組みの良さを知っていただくきっかけとして開催する。

子供向けの内容であり、産業団地のことを広く知っていただきたいと思っているので、父母に情報提供をしていただけたらと思う。

また、11月3、4日は、大学祭が予定されている。

また、健康ウォーキングで簡単な健康チェックというブースを出す。

ウォーキングとともに立ち寄っていただけたらと思う。

(柳本 横浜市立大学ボランティア支援室コーディネーター)

ボランティア支援室が正門近くに移転した。ご入用の際は、移転先にお越しください。

(細貝 関東学院大学社会連携センター社会連携係長)

11月3、4日に大学祭が予定されている。

また、健康ウォーキングでは、シェイクスピア英語劇研究会の学生が、応援として参加予定。

(内藤 六浦地域ケアプラザ所長)

9月から、むうたんカフェを開催。

多世代交流カフェとして、赤ちゃんからお年寄りまで参加している。

初回は60名越えで、本日は55名ほどが参加。

また、その都度、ボランティアさんのイベントも開催している。

生活支援の分野では、柳町ケアプラザとともに協議体を進めている。

その中でも、関東学院大学の田中教授にご協力いただき、栄養についての講演を行う。

(佐藤 柳町地域ケアプラザ所長)

健康に関して、包括支援センターにて介護予防講座を行っている。

1月末まで、テーマを変えて何回か行っている。

チラシ配布等のご協力をお願いします。

また、瀬ヶ崎小にて認知症サポーター養成講座を行う。

地域の中でも、ご要望があれば何ってオレンジリングを広めることで、地域で認知症の方の見守りができればと思っている。

11月3日に感謝祭も予定しており、初めて金沢福祉センターおよびひだまりの家と共催で開催する。

○その他

(小池 地区社協福祉委員会第2部会委員長(スポーツ推進委員地区長))

金沢八景公園の津波避難施設に時計を設置してもらえるとのことので、春の連絡会で申し入れをし、その後のスピーディーな対応に感謝している。

児童公園等のついていないところにも順次つけていただければと思う。

(柳田 連合・社協副会長)

六浦地域の特徴として、大学が2つあり、ケアプラのイベントや地域のイベントも多数ある。

そこで、新設される自由通路や乗り換え口等の人通りの多い箇所にイベント周知の掲示ができないか。

人目に触れることで周知もできるし、また駅を使おうと思えると思う。

ご検討いただきたい。

(國原 金沢区長)

運用方法は決まっていないが、2階のデッキ上にポスターケースを作ることが確定している。観光PR等もできないか、区役所で検討中。

(6) 閉会の言葉 (渡辺恵二 連合・社協副会長)

以上